

施策123 ころと身体健康対策の推進

基本事業12301 健康づくり活動の推進 (主担当 健康増進課)

県民の死因の6割を占める生活習慣病を減少させるため、予防施策の指標として策定した「豊かにあれ健康づくり運動」の推進により、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるような社会環境の整備を行います。

1 地域計画「豊かにあれ健康づくり運動」の総合推進

健康日本21の地方計画として、管内全市町と協働で策定し、住民・ボランティア・市町・医療関係者・産業保健関係者等、地域の健康づくりに関する組織との協働で取り組んできた「豊かにあれ健康づくり運動」ですが、平成24年度は計画の最終年度となりました。

この間、テーマごとに取り組んだ協働事業の成果や市町村合併が進み、市町独自の健康づくり計画の策定によるPDCAサイクルに基づく健康づくり推進体制が確立されたことなどから、伊勢志摩地域全域をカバーしたこの運動の役割は一旦終えることになりました。

今後は、地域保健と職域保健との連携を地域全体の課題として取り組んでいきます。

(1) 地域計画推進会議「豊かにあれ健康づくり運動推進会議」

医師会、歯科医師会、学校、ボランティア、市町、産業保健等関係機関からなる会議を開催し、地域健康づくり計画である「豊かにあれ健康づくり運動」の最終評価を行いました。

開催日	内 容	出席者
平成25年 2月7日(木)	「豊かにあれ健康づくり運動」の最終評価及び今後の方向性について意見交換と検討	委員 16人

(2) 市町訪問の実施

市町における健康づくり運動の状況及び保健活動についての状況等、平成24年度の課題、方向性、特定健診・保健指導等について、各市町に出向き意見交換を実施しました。

訪問日	市 町		伊勢保健福祉事務所
平成24年 5月21日(月)	大紀町	係長(保健師) 保健師 2名 管理栄養士	課長(保健師) 保健師 3名
平成24年 6月5日(火)	伊勢市	課長(保健師) グループ長(保健師) 3名 保健師	課長(保健師) 保健師 2名

訪問日	市 町	伊勢保健福祉事務所
平成24年 6月 5日(火)	南伊勢町 課長 (事務職) 係長 (保健師) 医療介護対策監	課長 (保健師) 保健師 2名
平成24年 6月18日(月)	志摩市 課長 (保健師) 係長 (事務職) 2名 大王保健センター長	課長 (保健師) 保健師 2名
平成24年 6月18日(月)	鳥羽市 係長 (保健師) 保健師 2名 管理栄養士	課長 (保健師) 保健師 2名
平成24年 6月25日(月)	玉城町 係長 (保健師) 保健師 2名	課長 (保健師) 保健師 3名
平成24年 6月28日(木)	度会町 係長 (管理栄養士) 保健師 1名	課長 (保健師) 保健師 3名

【テーマごとの推進】

1 身体活動・運動

江戸時代に伊勢詣の道中ガイドや宿泊・観光案内をした方達の呼称である御師(おんし)にちなんで、地域住民の健康づくりの案内を担う運動アドバイザー(ガイド・案内役)を「健康御師」として育成してきましたが、現在では自主的又は市町とともに地域で活動しています。

2 たばこ対策

喫煙対策は、防煙・分煙・禁煙支援の3本柱で展開し、公共の場における分煙化の推進や禁煙の啓発、防煙のための情報提供を実施しました。

- ・世界禁煙デー前後に啓発用ポケットティッシュを窓口に設置しました。
- ・伊勢保健所ホームページに、たばこに関する情報を掲載しています。

3 歯と口の健康づくりの支援

歯科口腔保健の推進に関する法律や条例が施行され法整備が進むなか、ホームページや窓口へ啓発用ポスター・冊子等を設置することにより、8020運動の啓発を行いました。

4 食環境の整備

(1) 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成を図るため、食事バランスに対する理解と「食事バランスガイド」の活用に向けた普及啓発を行うとともに、多様な主体と協働し、食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進しました。

ア 野菜フル350推進事業

食生活の現状をみると、全ての年代で野菜の摂取が不足しており、生活習慣病予防の視点などから課題となっています。健康的な食生活が実践できるよう、1日の野菜摂取の目標量を350gとし、野菜摂取の増加（食事バランスガイドで副菜1つの増加）に焦点をあてた事業を推進しました。

○野菜フル350セミナーの開催

日 時	内 容
① 平成 24 年 4 月 17 日 (火)	野菜たっぷりレシピの検討 市町において野菜摂取の啓発を行うためのレシピ検討を実習を含めて実施した。 対象：管内市町保健・福祉行政栄養士 8 人
② 平成 25 年 3 月 5 日 (火)	飲食店関係者への野菜啓発 調理師免許更新時を活用し、三重県の野菜摂取量の現状と目標を説明し、野菜のメニューの促進を図った。 対象：調理師 25 人

○普及啓発等

日 時	内 容
① 平成 24 年 10 月 9 日 (火)	コープみえとの協働啓発「くらしの活動交流会」 場所：県営アリーナ 対象：コープみえ新規会員（一般）100 人 「野菜をもっと食べよう」「野菜料理をもう一皿」をテーマにしたクイズによる啓発を行った。
② 平成 25 年 3 月 10 日 (日)	マックスバリューとの協働啓発 場所：マックスバリューララパーク店 対象：一般買い物客 50 人 「野菜を食べよう（野菜フル350）」 関連リーフレット等の配布により啓発を行った。
③ 年間	給食施設に対し、巡回指導時を活用して啓発物を配布、野菜フル350推進事業を認知を高めた。 対象：63 施設

イ モーニングベジの推進

健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食において野菜摂取を推進する。

○普及啓発

	内 容
① 平成 24 年 6 月 15 日(金)～ 6 月 22 日(金)	食育月間での展示啓発 場所：県伊勢庁舎玄関ホール 展示内容：食育月間（6 月）と食育の日（19 日）に合わせて、『朝食の大切さ、野菜を食べる』として啓発物の展示や配布等を行った。配布約 200 人
② 平成 24 年 10 月 21 日（日）	労働者福祉フェスティバルでの啓発 （勤労者地域共同事業実行委員会との協働） 場所：県営サンアリーナ 内容：『食育体験コーナー』『朝食の大切さ』『野菜を食べる』により体験クイズ、展示、啓発物の配布等を行った。 コーナー参加者 約 200 人

ウ「健康づくり応援の店」協働事業

○「いせしま健康もてなしの店」を通じた健康づくりの推進

伊勢志摩地域では、健康的な食環境の整備を図るため、平成 13 年度から、ヘルシーメニューの提供や栄養成分表示、健康情報発信等を通じて、健康を視点としたおもてなしを行う飲食店が「いせしま健康もてなしの店」として認定されています。（平成 24 年度末 72 店舗）。

この「いせしま健康もてなしの店」認定店がそれぞれの持つ多彩な特色を活かし、情報を共有し、連携を進めることにより誰もが楽しく食事ができる店づくりを支援するとともに、健康情報を発信し、健康的な食環境整備を図りました。

○「いせしま健康もてなしの店」推進委員会運営等への支援

開 催 日	内 容
平成 24 年 4 月 20 日（金） 5 月 23 日（水） 6 月 29 日（金） 8 月 8 日（水） 10 月 24 日（水）	推進委員会の活性化のためニーズ把握及びその結果を踏まえた今後の取組の検討 ・ アンケートの企画・実施・結果まとめ ・ 「健康づくり応援の店」登録店との関係を整理し周知 ・ 研修会の企画 ・ 新ステッカーの作成・配布 等

○資質向上のための支援

開催日	内 容	参加者
平成 25 年 2 月 20 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告会 アンケート結果の報告や今後の方針について説明 ・研修会 講演:伊勢神宮と食の関わり 調理実習:料理で表すもてなしの心 栄養成分表示コーナー 食空間と色彩コーナー ・場所 伊勢保健所 集団指導室・栄養指導室等 	いせしま健康もてなしの店関係者 13 人

○健康づくり応援の店への巡回訪問

登録更新手続きの支援と県作成啓発物（紙ナプキン）の配布のため、随時訪問を実施した。

訪問店舗 実数（24 年度年間）：61 店舗

○その他支援

いせしま健康もてなしの店不定期便等による情報発信の発行 3 回
ホームページへの掲載と随時更新

<http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/kenkou/motenasii/Index.htm>

(2) 栄養施行事務事業

ア 給食施設等指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設の栄養管理に関する指導支援を実施するとともに、非常時の食料備蓄や対応マニュアルの整備状況の把握を重点的に行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました。

○給食施設巡回指導

区 分	管理栄養士配置の知事指定施設	特定給食施設施設（知事指定を除く）	一般給食施設	合 計
指導実施施設数	4	27	32	63

○給食施設個別相談・指導

相談・指導件数 11 件

○給食施設従事者研修会

開催日	内容	参加者
<p>平成25年 3月8日(金)</p>	<p>講演及び調理デモンストレーション</p> <p>「味と見た目と食感にこだわったオリジナル嚥下食『やわ楽（やわらぎ）』の取組事例」を紹介し、増加する嚥下困難者の食に関するQOLの向上や低栄養改善の課題に応えた。</p> <p>講師：フィオーレ南海 管理栄養士 場所：伊勢保健所栄養指導室</p>  <p>↑見た目は普通食と同じ（煮物・フルーツ・おはぎ）</p>  <p>↑穴をあけてレンコンはレンコンらしく形成</p>  <p>↑丁寧なデモンストレーションによる講習</p>	<p>42人</p>

イ 栄養表示等の指導支援

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、栄養表示基準にかかる相談・指導を行いました。

- ・ 特別用途食品・栄養表示等の相談・指導
相談・指導件数 8 件

ウ 調査事業

○平成24年国民健康・栄養調査

実施時期	調査対象地区	実施人員
平成24年11月	伊勢市御園町高向	10世帯22人
平成24年11月	度会郡南伊勢町迫間浦	23世帯45人

エ 栄養相談指導事業

栄養相談のニーズに応じて個別の栄養指導を行いました。

対象	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上	合計
件数	0	0	0	6	6

オ 人材育成・支援

○市町栄養士支援

- ・ 市町保健・福祉行政栄養士連絡調整会議の開催 年間2回

○地域活動栄養士活動支援

- ・ 情報提供・情報交換会等 年間12回

※「こころの健康づくり」については本節基本事業12302に、人材育成としての管理栄養士学生臨地実習は本節基本事業12101に掲載していません。

基本事業12302 こころの健康づくりの推進 (主担当 健康増進課)

社会環境の複雑化に伴い、地域ではさまざまなこころの健康問題が起こっています。こころの交流を豊かにすることで住民が地域で孤立せず、誰もが住み良い地域づくりをめざして各事業を実施しています。

主な取組内容

	開催日	内容及び対象者	講師等
メンタルパートナーナー養成	平成24年 11月1日(木) 11月13日(火) 11月16日(金) 平成25年 2月5日(火) 2月8日(金)	(対象者) 研修医 地域活動栄養士 食改善リーダー養成講座出席者 看護学生 まちづくり市民会議出席者	保健師
支援者等研修	平成24年 9月19日(水)	こころの支援者研修会 「WRAP(元気回復行動プラン)を体験しよう」・・・当事者	保健師
	平成24年 10月28日(日)	こころの支援者研修会 「WRAP(元気回復行動プラン)を体験しよう」・・・家族	保健師
普及	平成24年 12月7日(金)	自殺予防講演会 ～今だからこそ、命について考える～ 「つながる命・今をいかに生きるか」	NPO法人 ホームホスピス 宮崎 理事長
啓発	平成24年 9月9日～16日 平成25年 3月1日～29日	① 自殺予防週間:近鉄駅前での啓発品配布、庁舎のぼり旗によるPR ② 自殺対策強化月間:市内大型店舗での啓発品配布、庁舎のぼり旗によるPR	
ネットワーキング会議	平成25年 2月7日(木)	自殺・うつ対策を含めたこころの健康づくりについて検討	関係機関 職員
その他		保健所ホームページの活用 ・相談機関の紹介 ・自殺予防週間や自殺対策強化月間などをPR	

基本事業12303 生活習慣病・難病対策の推進

(主担当 地域保健課・衛生指導課)

難病患者の病気や日常生活に対する不安の軽減を図るため、保健所において医療相談会等を開催するとともに保健師などによる家庭訪問を実施し、患者の病状変化に応じた援助を行い、地域における支援体制の充実を図ります。

1 難病対策の状況

原因不明の疾患のうち国の指定する56疾患について医療費を公費負担し(重症の場合、全額公費負担。その他については上限を設定し、一部自己負担)患者の負担軽減を図るとともに、難病患者等への療養支援や生活支援を行い精神的・身体的不安の軽減を図りました。

また、先天性血液凝固因子障害の患者に対し、医療費の公費負担を行い精神的・身体的不安の解消を図りました。

(1) 特定疾患医療受給者の状況

治療が極めて困難であり、長期の療養を要し、その治療費も高額なため、指定された56疾患の患者の自己負担を軽減し治療の促進を図りました。

平成25年3月31日現在

番号	市町名 疾病名								合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
1	ベ ー チ ェ ッ ト 病	24	7	9	2	4			46
2	多 発 性 硬 化 症	23		5	3	2		3	36
3	重 症 筋 無 力 症	18	4	12	2		3	1	40
4	全身性エリテマトーデス	44	7	20	8	5	2	7	93 (1)
5	ス モ ン	2		1			2		5
6	再 生 不 良 性 貧 血	7	2	8		1		1	19
7	サ ル コ イ ド ー シ ス	30	3	15	1	2	2	3	56
8	筋 萎 縮 性 側 索 硬 化 症	10	1	6	2			2	21
9	強 皮 症 ・ 皮 膚 筋 炎 又 は 多 発 性 筋 炎	62	9	24	4	3	8	11	121
10	特 発 性 血 小 板 減 少 性 紫 斑 病	34	7	14	3	1	1	5	65
11	結 節 性 動 脈 周 囲 炎	11	1	6	1	1		2	22
12	潰 瘍 性 大 腸 炎	141	22	59	20	8	5	8	263 (4)
13	大 動 脈 炎 症 候 群	5		4				1	10
14	ビ ュ ル ガ ー 病	6	3	4	1			2	16
15	天 疱 瘡	6					2		8

番号	市町名 疾病名	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
16	脊髄小脳変性症	22	10	17	2	2		5	58
17	クローン病	32	5	8	2	1	5		53
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎								
19	悪性関節リウマチ	10	1	7			2	3	23
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	118	25	65	14	4	15	33	274
21	アミロイドーシス	4	1	1			1		7
22	後縦靭帯骨化症	47	7	28	6	5	6	8	107
23	ハンチントン病	5							5
24	モヤモヤ病 （ウィリス動脈輪閉塞症）	10	3	7		1			21
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1				1	2	5
26	特発性拡張型（うっ血型） 心筋症	65	9	32	2	5	5	15	133
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガ症候群）	10	1	4	1			1	17
28	表皮水疱症			1					1
29	膿疱性乾癬	1	1	3	2				7
30	広範脊柱管狭窄症	1	1				3	1	6
31	原発性胆汁性肝硬変	59	8	22	5	6	2	5	107
32	重症急性膵炎	1	3	1			1	1	7
33	特発性大腿骨頭壊死症	4	1		1		1	1	8
34	混合性結合組織病	9	2	7	1	1		3	23
35	原発性免疫不全症候群	2							2
36	特発性間質性肺炎	18	3	6	3	2		6	38
37	網膜色素変性症	28	3	23	11	3	2	7	77
38	プリーオン病	1		1					2
39	原発性肺高血圧症	3						2	5
40	神経線維腫症（Ⅰ型・Ⅱ型）	2	3	1					6
41	亜急性硬化症全脳炎	1							1
42	バッド・キアリ症候群						1		1
43	特発性慢性肺血栓塞栓症	1	1						2
44	ライゾーム病	1							1
45	副腎白質ジストロフィー			1					1

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
46	家族性高コレステロール血症								
47	脊髄性筋萎縮症								
48	球脊髄性筋萎縮症	1	1	1					3
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3	2	2	2		1	2	12
50	肥大型心筋症	8		2	1		1	1	13
51	拘束型心筋症								
52	ミトコンドリア症	1						1	2
53	リンパ脈管筋腫症								
54	急性多形滲出性紅斑（急性期）								
55	黄色靱帯骨化症	5		1		1		1	8
56	間脳下垂体機能障害	16	2	7		4	1		30
合 計		913	160	434	100	62	73	144	1887 (1892)

* () は転入者含む

(2) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

平成24年4月1日～平成25年3月31日

番号	病 名	件 数
1	第Ⅰ因子（フィブリノゲン）欠乏症	—
2	第Ⅱ因子（プロトロピン）欠乏症	—
3	第Ⅴ因子（不安定因子）欠乏症	—
4	第Ⅶ因子（安定因子）欠乏症	—
5	第Ⅷ因子欠乏症（血友病A）	7
6	第Ⅸ因子欠乏症（血友病B）	—
7	第Ⅹ因子（スチュアートブラウア因子）欠乏症	—
8	第ⅩⅢ因子（フィブリン安定化因子）欠乏症	—
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブラン) 病	4
合 計		11

2 難病在宅ケア事業

- ・ 難病患者の療養生活を支援し、QOLの向上を目指します。
- ・ 在宅患者及び家族の在宅ケアの充実を図ります。
- ・ 各関係機関との連携を強化していくことにより、地域支援体制の基盤を作ります。

(1) 特定疾患医療申請時面接の実施

患者個々の状況や療養上の困りごと及び問題点を明確にし、必要なケアを行うため、申請手続に来所した患者・家族に対し面接及び電話による相談支援を行いました。

個別面接 : 250人

(2) 訪問相談等の実施

訪問対象者は筋萎縮性側索硬化症等の神経筋疾患が大半を占めています。

訪問人数 : 延べ26人 (実人員 10人)

(3) ケース検討会の実施

実施回数 : 2回 (実人員 2人)

(4) 医療相談の実施

- ・ 相談者
当事者及び家族 : 延べ7人 (実人員 4人)
関係機関 : 延べ3人
- ・ 実施者
相談従事者 : 医師等9人

3 肝炎治療特別促進事業 (B型、C型ウイルス性肝炎インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療医療費助成制度)

B型、C型肝炎のウイルス除去を目的に、インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成します。

(平成20年4月1日から事業開始)

(1) 公費負担医療状況 平成24年4月1日～平成25年3月31日

区分	件数
申請	154
承認	154

4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾に被爆し、今なお特別な状況にある者に対して、特別手当の支給等の措置を講じその福祉の向上を図るとともに、健康診断及び医療費助成を行い、健康の保持を図りました。

(1) 健康手帳交付、手当受給状況 平成 25 年 3 月 31 日 (単位：人)

区分		市町名								合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町		
健康手帳 交付状況	男	20	3	15	1	1	0	7	47	
	女	13	4	6	1	0	0	0	24	
	計	33	7	21	2	1	0	7	71	
各種 手当	医療特別手当	0	0	2	0	0	0	1	3	
	保健手当	3	1	0	0	0	0	0	4	
	健康管理手当	30	6	19	2	1	0	6	64	
	介護手当	0	0	0	0	0	0	0	0	
	家族介護手当	1	0	0	0	0	0	0	1	
	手当なし	0	0	0	0	0	0	0	0	
	葬祭料	2	1	0	0	0	0	0	3	
	計	36	8	21	2	1	0	7	75	

(2) 健康診断受診者状況 平成 25 年 3 月 31 日 (単位：人)

定期健康診断	検査項目	一般検査	肝機能検査	ヘモグロビン A1c
	第 1 回春	41	39	38
	第 2 回秋	37	35	20

がん検診 (希望による)	胃がん	肺がん	乳がん	大腸がん	多発性骨髄腫
	2	6	1	6	6

5 骨髄バンク事業

骨髄移植とは、白血病や再生不良性貧血などの血液難病におかされた患者さんの骨髄幹細胞を骨髄提供者（ドナー）の方の健康な骨髄幹細胞に入れ替える（実際は骨髄液を点滴静注する）治療のことである。しかし、移植のためには、患者さんとドナーのヒト白血球型抗原であるHLA型が一致しなければいけません。一致する確率は兄弟姉妹型で4分の1です。しかし、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者間では、数百～数万分の1の確率でしか一致しません。

このため、各種イベント会場等において「勇気の会」伊勢志摩支部（三重県骨髄バンク推進連絡会）の協力を得て骨髄バンク登録の啓発を図るとともに、献血ルーム「ハートワン」と臨時登録会で骨髄提供希望者の登録受付を行っています。

(1) イベント会場での啓発活動の実施

ア 献血ページェント

平成24年 7月15日（日） イオンタウン伊勢ララパーク
平成24年 8月21日（火） 鳥羽ショッピングプラザハロー
平成25年 1月14日（月） イオンタウン伊勢ララパーク
平成25年 3月10日（日） イオン阿児店
平成25年 3月20日（水） 鳥羽ショッピングプラザハロー

イ 学園祭

平成24年11月3日（土） 皇學館大学 倉陵祭

(2) 骨髄提供者登録受付

ア 臨時登録受付

登録者 37名

実施日	場 所	登録者数
平成24年7月15日（日）	イオンタウン伊勢ララパーク	4
平成24年8月21日（火）	鳥羽ショッピングプラザハロー	4
平成24年11月3日（土）	皇學館大学「倉陵祭」	9
平成25年1月14日（月）	イオンタウン伊勢ララパーク	10
平成25年3月10日（日）	イオン阿児店	7
平成25年3月20日（水）	鳥羽ショッピングプラザハロー	3